



サイジャーナル

月刊
4-7-8
第464号

日本サイ科学会 令和4年7月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサノビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	中 部 〒455-0053 名古屋市港区 名四町113 眞 野 博 英 ☎ 090-9196-2963	北 陸 〒920-0031 金沢市広岡2-7-25 プレミスト金沢駅西口1 804号 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 2034	関 西 〒545-0034 大阪市阿倍野区 阿倍野元町1-2 和 田 高 幸 ☎ 06 (6624) 0569・FAX 06 (6624) 5061	九 州 〒814-0015 福岡市早良区 室見1-1-3-2F 伽 羅 ☎ 070 (7782) 6216・FAX 092 (846) 8200
---	--	--	---	---

七月本部例会のお知らせ

不思議体験談 写真映像発表・
討論会(発表者募集中)

日時 令和4年7月18日(月祝)
午後1時30分～4時30分
会場 北とびあ9階701会議室
交通 J R京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端(赤
羽寄り)の階段を下り改札
口を出て見える高層ビル
会費 一千元(会員・一般とも)

皆様がこれまでに体験した不思議な現象や不思議な写真・映像を参加者の皆様に紹介しながら、参加者全員で解釈や討論をして、共有する会です。

UFOと宇宙人、オーブや心霊写真、地震雲など地震前兆現象、それらに関わる動画等、是非日本サイ科学会事務局に事前に「プリント写真」あるいはUSBメモリの郵送、あるいはメール添付ファイルで送信いただければ、有り難いです。(送られたものは返却できませんので、コピーをお願い致します。)

スプーン曲げ等の念力、透視能力・予知能力などサイ能力に自信のある方、または友人、知人に能力者のいる方は是非お連れしてください。

特別講師はおりませんが、参加者の皆様の自由な発言でいつも楽しい会になりますし、終了後の懇親会も面白い話題で盛り上がります。

参加費は、会員、一般とも千円です。ので、気楽にご参加願います。

※8月の本部例会はお休みとなります。

九月本部例会のお知らせ

この世の人生で活躍、満足する方法とは？

講師 飛沢誠一氏

日時 令和4年9月18日(日)
午後1時30分～4時30分
会場 北とびあ9階902会議室
交通 J R京浜東北線王子駅下車

今月号の記事

- ◎ 七月本部例会のお知らせと募集
- ◎ 九月本部例会のお知らせ
- ◎ 御寄付御礼
- ◎ 十月第30回全国大会発表者募集
- ◎ 関西日本サイ科学会7月研究会のお知らせ
- ◎ 関西日本サイ科学会夏季放談会のお知らせ
- ◎ 第46回宇宙生命研究分科会予告
- ◎ 令和3年12月本部例会の報告I
- ◎ 第四六六回関西サイ科学会報告
- ◎ 第四六七回関西サイ科学会報告
- ◎ 6月の定例幹事会にかわる「お茶会」に関連して
- ◎ 人生を命が消えるまで心も健康でありたい生き方
- ◎ 名著こぼれ話(アーカイブ)
- ◎ 関英男先生関連書籍の販売
- ◎ 超常現象として願いたい事を叶える
- ◎ 理想社会への道

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル
会費 会員二千元(当日入会可)
一般三千元 学生一千元

講演内容

実際多くの人がこの世に生まれ

て活躍して、有意義な人生を送りたいと願っている。しかしながら多くの人が自分の人生に満足感が得られない状態で人生を終わっている。ところが多くはないが、自分の人生をとて満足して、幸せな一生だったと感謝して死んでいく方もいます。この差はなんでしようか？一般的には人生は能力、努力や運等で決まっていると思われているが、実際には異なります。

私は500人程の方々の過去世をリーディングして今生のアウトプットと過去世(5世代)、今生の人生の活性度、人生の波動の高さの三つのパラメーターの相関関係をまとめて観ると、今世のアウトプット(人生の満足度、社会への貢献度、金銭的な評価)とこの三つのパラメーターの関係が定性的に表現できる事が分かりました。今回の報告ではこの相関について、なるべく定量的な相関式で説明させて頂きます。

※長年一流企業のエンジニアをやりながら、見えない世界に興味をもち、いろいろな技法を学び自分独自のヒーリング法を開発した方

です。健康改善に興味のある会員の皆様は、ご友人、知人をお誘いして、ぜひご参加願います。

◎飛沢誠一氏のプロフィール

某一部上場企業にて31年間技術開発として各種製品を開発に従事、研究所長まで務めた。30年前に不思議な体験を通じてヒーリング、チャネリング、アカシックレコーディング、ディングを体得。会社勤務中から人体はじめ土地、建物などのヒーリング・浄化方法など開発実践してきた。10年前このレイキ気功技術開発とその施術・指導に専念するため会社を設立、高次元レイキ気功を開発した。現在はその技術指導・普及活動に力を注いでいる。

「心を科学する博物館」と一般の御寄付御礼

(6/18受領分まで)

金二千円也 八幡 みわ 様
金一千円也 瓜生昌代司 様

2022年日本サイ科学会 第30回全国大会発表募集

毎年の重要な行事である全国大会が、今年も10月10日(月・祝)に開催されます。会員の研究発表+シンポジウムが予定されておりますが、会員の皆様には積極的な発表ご参加を期待しております。

今年のシンポジウムのテーマは「あの世とサイ」ということで、宗教や心霊科学にとつて主要なテーマとなります死後の世界について、サイ科学的な観点からのアプローチと解釈を検討していく所存です。

会員の研究発表では、シンポジウムのテーマに関してでも、そうでなくてもOKであり、これまでの研究での新しい発見、現在もしくは近いうちにデータ取りをしてまとめたこと、偶発現象(UFO、心霊現象等)の目撃と原因の推測・解明、様々なサイ現象の仮説(理論)など「サイ」に関連することなら何でも結構ですので、ご自分の考えや研究成果をまとめ、発表させて頂きたいと存じます。

7月末までにタイトルと簡単な内容(200字くらい)をメール、またはFAX、ハガキでお送りいただき、一応審査させていただきます、通りましたら8月31日までに原稿ファイルをメール添付等で戴きたいと思えます。原稿の書式は後でお知らせ致します。

※全国大会での発表はできないが、論文集「サイ科学」の資料として、発表したい原稿も募集致します。論文集「サイ科学2021」末頁の「サイ科学の投稿審査規定」をよく読んで、応募願います。

関西日本サイ科学会 七月研究集会のお知らせ

人類史と見えない『音』の世界
〜調性、周波数・音のあれこれ〜

講師 河野正孝氏

(指揮者、オーボエ奏者、関西室内楽協会代表)

日時 令和4年7月16日(土)

13:30～17:00 (13:00開

場)

会場 まつむし音楽堂2階Aスタ

ジオ

・阪堺電車上町線「東天下茶屋駅
下車徒歩5分

・大阪メトロ御堂筋線「昭和町」
駅から徒歩15分

・まつむし音楽堂から阿倍野筋沿
いに徒歩10分

会費 会員及び同伴の家族二千元
一般三千元 学生一千元

終了後、講師を囲む懇親会があ
ります。(於「わのわ」《あべのペ
ルタB1F》、参加費3500円)
※懇親会への参加は、当日受付に
てお申し出ください。

※参加のお申込みは、関西日本サ
イ科学会公式サイト「参加予
約」フォームからお願い致します。

<http://ladies.jp/kps/ken.html#ken463>

「言語」に先立つ「音」の知覚は
人類の歴史に大きな影響を与えて
きました。音の影響について
はあまり知られていないのが実情
ではないでしょうか。講師はヨー
ロッパで西洋音楽を学びオーケス

トラの中核となるオーボエ奏者と
して、また指揮者として音の世界
を横断、実践してきました。その
経験から「見えない」音の世界を探
求、多くの知見を得たといえます。
今回は楽曲の調性や音程、さらに
周波数など、生体を与える影響に
ついてもお話しいたします。音
楽によって脳波がどのように変化
するか、かんたんな実験も予定し
ています。ぜひご来聴ください。

◎河野正孝氏のプロフィール

大阪音楽大学、ドイツ・フライ
ブルグ音楽大学卒業、オーボエを
ハインツ・ホリガーに、ハノーヴ
アー音楽大学(卒業)ではイン
ゴ・ゴリツキに師事。帰国後、関
西室内楽協会、大阪チェンバーオ
ーケストラを設立して室内楽活動
を積極的に行う。1989年大阪
市「咲くやこの花賞」受賞。また、
ソリストとしてリサイタルや大阪
フィルハーモニー交響楽団との共
演など活発に演奏を行い、宝塚ベ
ガコンクール審査員、大阪芸術大
学准教授、読売室内楽コンクール
アドヴァイザーなどを務める。関
西室内楽協会主宰、大阪チェンバ
ーオーケストラ代表。やまなみグ

リユーネ管弦楽団音楽監督。

恒例「関西日本サイ科学会 夏季放談会」

日時 8月20日(土)

14:00～17:00

会場 まつむし音楽堂2階Aスタ

ジオ

参加費 3500円(飲食を含む)

会員、非会員を問いません。サ
イ科学に関心をお持ちの方ならど
なたでも参加できます。

※参加のお申込みは、関西日本サ
イ科学会公式サイト「参加予
約」フォームからお願い致します。

<http://ladies.jp/kps/ken.html#ken463>

内容

ワゴンセール、歌曲(ゲスト歌手
松山七織、ピアノ/井之元加奈)、
タケダトリオによるジャズの生演
奏などを予定しています。

13:30 まつむし音楽堂合同慰霊祭

(安倍晴明神社宮司が出仕しま

す。)

14:00～15:00 開会のあいさつ、

乾杯、自己紹介 など

15:00～15:15 歌曲演奏(ソプ

ラノ/松山七織、PF/井之元

加奈)

17:00 歓談、タケダトリオ演

奏(リクエエスト可)

*ワゴンセール併催(サイ関連グ

ッズ@1000円から)

※関西日本サイ科学会8月の研究
集会はお休みとなります。

第46回宇宙生命研究分科会

第16回 UFO*オーブシン
ボジウム

テーマ「宇宙人革命(其の2)」

日時 令和4年7月23日(土)

午前10時～午後4時30分

会場 北とびあ7階第2研修室

交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤羽

寄り)の階段を下り改札口を出

て見える高層ビル

参加費 一般 二千元

サイ・サトル会員、学生、60歳以上一千元

宇宙人 0円(但し受付の要認可)

※事前参加申し込みは不要です。

※当日会場にて直接、現金にて参加費をお支払い下さい。

京都大学でも宇宙人との遭遇に備え「宇宙倫理学」講座を今年度から開始、アカデミズムでも宇宙人問題が認められている今、昨年に引き続き、「宇宙人革命」をテーマに更に深めて探求。現在、宇宙人革命は如何に進行しているか？ UFO*宇宙人との接触者を中心に、日本サイ科学会ならではの、超能力問題も考え合わせながら、学んでゆこう！ 皆さん、是非いらしてくださいね？

令和3年12月本例会報告I

ESPやPK現象を脳波で
説明する！

講師 志賀一雅氏

脳波研究の動機

私は大学を卒業して1961年に松下電器産業の研究所に入りました。本社は大阪の門真にあるのですが、東京地区にも研究所を造ろうということ、知り合いのついでで入社致しました。入って最初にやったのは半導体の物性研究であつたり、それを応用する集積回路の製造とか、やがてはLSI(大規模集積回路)の開発をしておりました。

60年代後半に米国で開催された国際会議に半導体物性の研究発表のため初めて渡米したのですが、そのときに研究者仲間でも話題になつていたので、脳波のアルファ波についての研究でした。アルファ波は初めて聞く話でしたが、知的生産性上がる、いろいろなアイデアが浮かぶ、アイデアに基づいて意欲的に実験するとかあるいは創るとか、また器用に手足が動くのも脳波でアルファ波が強いときなのだ、というような説明を聞きました。

それなら私自身の研究所において、アイデアとか特許を書くとか、あるいは実験しながらそれを証明するという行動に対して意欲的で

あるためには、自分がアルファ波が出るようになればいいのではなにかと考えました。デモンストレーションでいろいろ展示があつたものですが、自分の脳波を測らせてもらったのですが、まったくアルファ波が生まれませんでした。それでアルファ波が出るようになったら、アイデアが出るのではないかと。

研究所の研究員としては、基本は特許を申請して登録されて実用になったら、評価が高くなるのです。ところが特許のアイデアがなかなか出なくて書けなかつたのです。ですからアルファ波が強い状態で考えればアイデアが出て、特許も取れるかなと考えて、脳波のアルファ波をより強める方法を吸収して、日本に持ち帰ろうと考えました。そこから脳波の研究が始まりました。

脳波の研究をしておりましたが、日本ではその研究結果を発表する場がないのです。強いていえば心理学とか心理生理学等の学会で多少発表させてもらうことができました。

そうこうするうちに現在本会名誉会長である電気通信大学の佐々木茂美先生から依頼がありました。

た。PKやESPを引き起こす人の脳波がどうなっているかということ測定してほしいという依頼でした。私は個人的にはいわゆる超能力現象に興味はあつたのですが、オフィシャルに企業の研究所としてそれに取り組むというのは、ちよつと問題ありとなりました。ようかと懸念がありました。

上司に自分の出身大学、電気通信大学の佐々木茂美教授から依頼があつた旨伝えましたら、即座にダメの判断が来ました。後年ソニーで超能力の研究をした時期がありますが、松下電器産業では最初からNGでした。

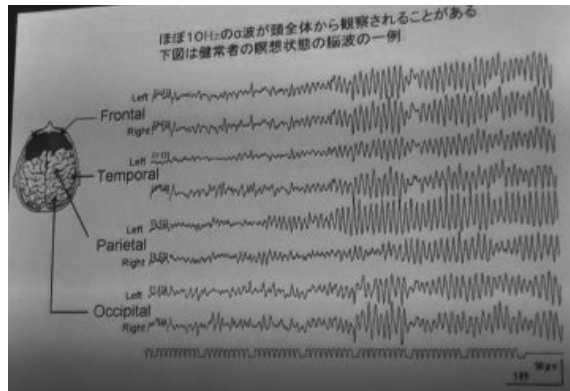
それで内緒に日曜日の夜などに大学に何つて、透視能力者の山下少年の実験中の脳波測定をしておりました。その後、PK能力者の清田少年の脳波測定もしてありました。清田益章氏とは半世紀ずつとお付き合いがあり、今日の報告の中にも彼の最近のすごいものをお伝えします。それらを手がかりに私も長いことこの分野の研究を続けてきたので、それなりの仮説を立てまして皆様方にお伝えしますので、厳しいご批判をいただきますがさらにこの仮説を仕上げていこうと

いう希望をもっております。研究所の上司がダメだと言ったものを隠れてやっておりましたが、結局ばれてしまつてすごく怒られて、会社を首になってしまいました。研究所のメンツもあるのですが、依願退職になったのですが、幸い私がつくった脳力開発研究所に2年間委託研究をいただきました。このように紆余曲折がありましたが、私は古くから脳波研究に取り組んできました。



いろいろな場所での脳波測定では病院で使うような大型の脳波計

は使えないので、パソコンに生体アンプをつないだりして、脳波を計測できるような性能に仕上げて測定しました。チャンネル数は8チャンネルで測定しますが、前頭の左右、側頭の左右、頭頂の左右、後頭の左右で脳波を測定しました。



当時の脳波の知見としましては、目を閉じて静かにすると後頭のアルファ波が沢山出るが、他の部位ではアルファ波はほとんど出ないとされておりましたが、実際に8チャンネルで測定しますと、

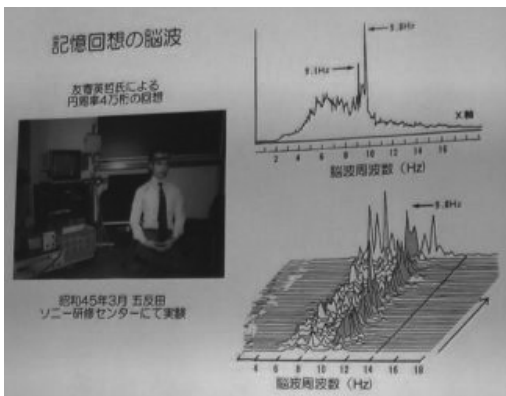
前頭、側頭、頭頂でも沢山出ておりました。

能力者の脳波計測

★記憶力世界一・友寄英哲氏

円周率4万桁暗記 9・8Hzのミッドアルファ波が優勢

ソニー社員であった友寄氏は、円周率4万桁を18時間で言い終えたという事で、3年間ギネスブックに載りました。



友寄氏が円周率を思い出しているときの脳波を測定しました。9・8Hzが非常に強いピークに

なるのですが、1分の1揺らぎもあり、その中心周波数は0・1Hzくらいの変化はします。

非常に面白いのは人間ですから機械と違って、円周率を思い出すとき非常に早くすらすらしゃべれるときと、ちよつとゆつくりして一生懸命思い出そうとしながら思い出せなくて黙ってしまうこともあります。円周率をしゃべるときにアルファ波の山がちよつと低くなって途絶えるときには思い出せないのです。そして深呼吸しながらアルファ波が強くなると思いが早くなり、アルファ波が一段と強くなると、とんとんとと思いが早くなります。

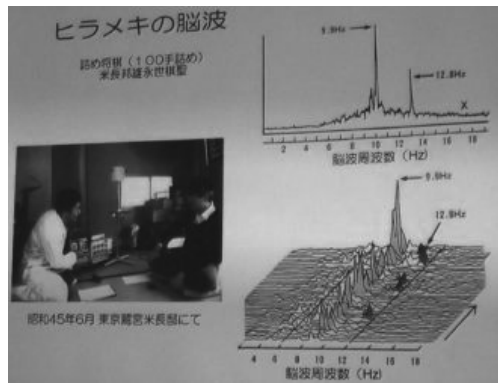
こういうアルファ波が強くなるような脳状態のときには、ものを覚えるとか思い出すというのはスムーズにいくのではないのでしょうか。

★独創的発想力・米長邦雄氏

100手詰めの詰め将棋を5分で解く 9・9Hzのミッドアルファ波が優勢

永世棋聖の米長邦雄氏に100手詰めの詰め将棋を考えているときの脳波を測定させていただきました

した。5分くらいで解いてしまいました。

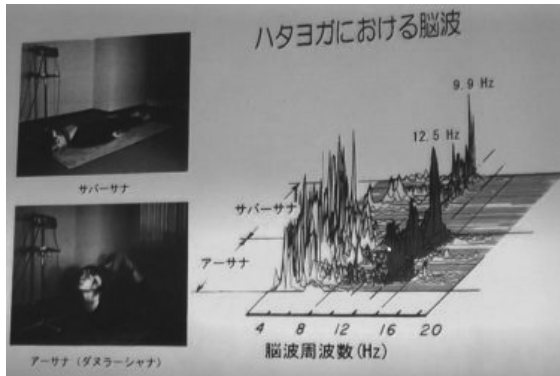


図は一生命考えているときの脳波ですが、閃きがときどき出ますが、合間に12・8 Hzの周波数が出ているときには詰みの方向ではないと考え直しているときです。最後に9・9 Hzのミッドアルファ波が強く出たときに、「解けたよ、君」とおっしゃいました。

★ハタ・ヨガにおける脳波

ハタ・ヨガのエキスパートに、2種類のポーズをしているときの脳波を測定しました。筋肉に刺激を与えながら心を集中させるアー

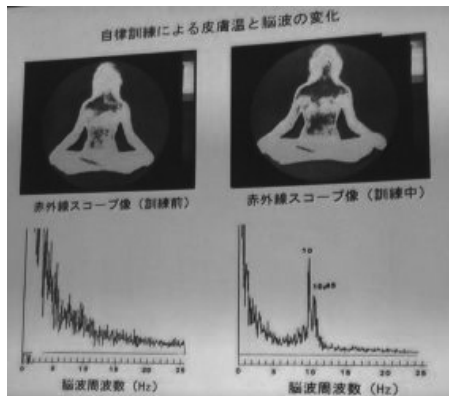
サナ(ダヌラーシヤナ)ときの脳波は、12・5 Hzのファーストアルファ波が強く出て、その後筋肉を完全に弛緩させ何も考えなくリラックスするサバーサナでは、9・9 Hzのミッドアルファ波が強くなりました。



自律訓練法による皮膚温と脳波の変化

自律訓練法はドイツの精神科医シュルツによって創始された自己催眠法であり、リラクゼーション技法です。図は自律訓練法をしているときの脳波の周波数です。右

側はおなか温かくなるという暗示のときの周波数ですが、10 Hzのミッドアルファ波が非常に高く出ます。



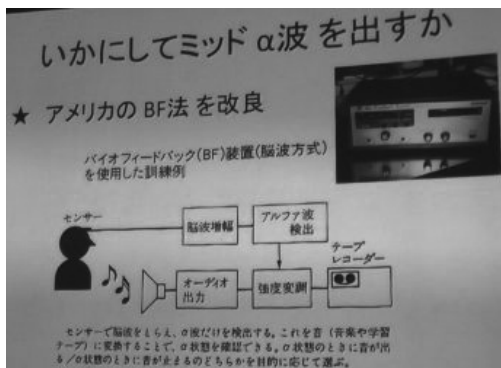
いかにしてミッドアルファ波を出すか

- ★自律訓練法…調身、調息、調心
- ・手足が温かくなる↓全身の血行が良くなる
- ・おなか温かくなる↓内臓の働きが良くなる
- ・額が涼しくなる↓勘が冴えてくる

こういふ3つの変化が出て来たら、おおむね自律訓練法はうまく

いつているよと評価されます。では脳波を測りながら自律訓練法をしたらどうなるか？ミッドアルファ波が強く出ればなるほど、手足↓おなか↓額のステージに移っていきます。

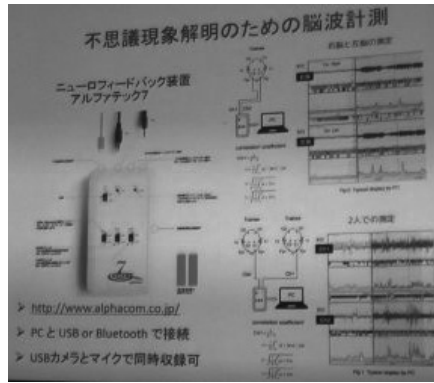
★アメリカのBF(バイオフィードバック)法を改良



図の右上の装置は松下電器産業に所属していたときにつくったものです。脳波を測定しながら、アルファ波が強く出るとテープレコーダーが動き出して、それに録音されている内容(鳥の鳴き声、波

の音等)が聞くことができる装置です。これによってアルファ波を強く出す訓練になるといふことで、当時の米国では人気が出ました。

不思議現象解明のための脳波計測 図は松下電器産業を辞めてから2年間の委託研究のときに、開発した小型の脳波計です。

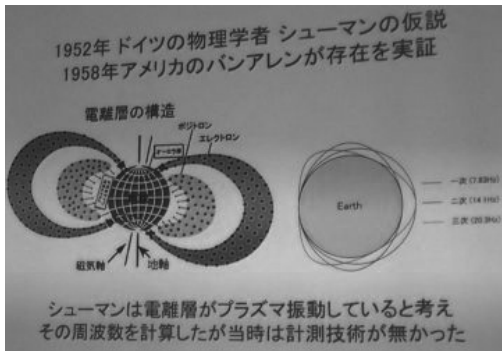


小型にするために2チャンネルにしたのですが、右脳の脳波(チャンネル1)と左脳の脳波(チャンネル2)を測定し、両側の脳波の位相が揃うと表示されるようになっていきます。言い換えれば、本音(右脳)と建前(左脳)が合致すれば、脳の活動は非常に効率的に

なります。この装置はそのように両側の脳波の位相が揃うとフィードバックの音が鳴るような仕組みになっております。

この装置は2チャンネルで2人の脳波を測定することもできます。例えば生徒と教師、あるいは選手とコーチの間の脳波の位相が揃えばコミュニケーションはうまくいっているということになります。二人でフィードバックの音が出るように訓練するとコミュニケーションが良くなり、選手の成績が伸びたりします。

シューマンの仮説とバンアレン帯

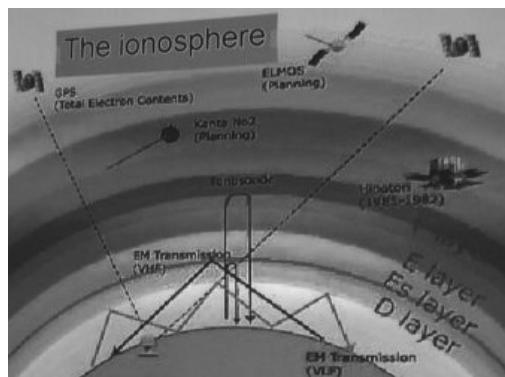
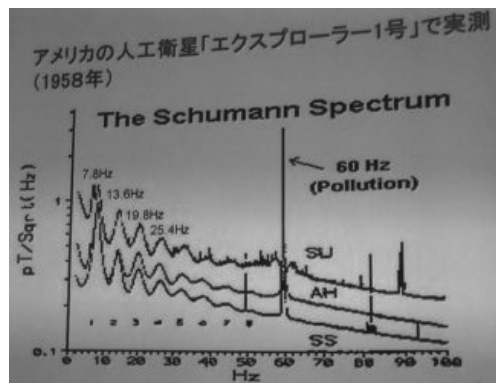


よく周波数を調べますと、いつもうまくいっているときは7・8 Hzのスローアルファ波、13・6 Hzのファーストアルファ波、19・8 Hzのベータ波、25・4 Hzの4種類の波が脳波として際立って出て来ます。

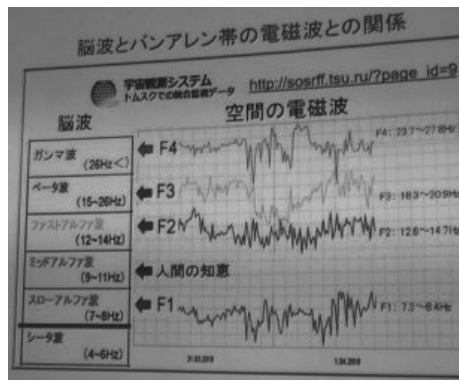
どうしてそれらの周波数が出てくるのか何を探しても見つかりませんでした。1952年にシューマンが地球の外側にプラスとマイナスの電離層が出来ていて、その電離層がプラズマ振動して電磁波が発生しているという仮説を出しました。その周波数も計算して出したのですが、当時はその計測技術がありませんでした。

たまたま米国のアポロ計画でいきなり人間を月に送るわけにはいかなかったので、ロケットで空間の状況を調べました。そして1958年米国の物理学者バンアレンがその電離層を発見したため、「バンアレン帯」という名前がつけました。バンアレン帯の周波数は先ほど述べました脳波のピークの4つの周波数と合致するのです。右側下図のように地球の大気圏の外側までプラスとマイナスの電離層がすごく大きな領域で存在し

ています。



そこで人工衛星「エクスペローラー1号」でその周波数を計測しました。F1…7・8 Hz、F2…13・6 Hz、F3…19・8 Hz、F4…25・4 Hzのピークがあります。これらの周波数は毎日計測されて、ネット上で見る事ができます。



私は「ちよつと待てよ、これらのピークの周波数と脳波の周波数の分け方と一致するのではないか」と思いました。F1がスローアルファ波、F2がファーストアルファ波、F3がベータ波、F4がガンマ波です。(続く)

第四六六回関西日本サイ科 学会研究集会報告

人生の大転換を画した竹炭の
効用

講師 岩熊裕明氏

(株式会社夢大地 代表取締役)

日時 令和4年4月16日(土)
会場 阿倍王子神社参集殿(2F)

今ではあたりまえとなったWiFiの電波が届かない四国の山奥で竹炭を焼く岩熊裕明が家族ともども人生の大転換を画した竹炭との出会いやその効用についてお話しいただきました。

竹は今、日本中に放置され竹林化していますが、それには大きな訳があるようです。竹は今後地球を救う為にならぬ植物です。否が応でも広がり続けていると考えられるのです。竹の持つエネルギー特性は計り知れませんが、元素成分にも特徴があります。竹の本体には特に鉄分が多

く含まれており、また竹の笹の葉には沢山のケイ素が含まれています。植物の元素成分は、生のままで炭化した後でも同じであることが分かっていますので、長期利用・長期保存が可能である炭にすれば、地球環境改善と人類や生き物の健康に役立てることが出来ます。

第四六七回関西日本サイ科 学会研究集会報告

見えない世界のリアルな能表現とサイ科学の接点を探る

講師 山中雅志氏

(観世流能楽師、山中能舞台主宰)

日時 令和4年5月14日(土)
会場 阿倍王子神社参集殿(2F)

幽玄の世界をあつかう「能」は、600年以上の命脈を保つ古典芸能。演目の大半が霊魂など「幽(かく)れた世界」を扱っている点で特異ですが、見えない世界を扱う

サイ科学と共通するところもあります。今回は、観世流シテ方能楽師、山中雅志氏を迎え、見えない世界についてのお話をうかがい、サイ科学との接点を垣間見ることができました。講演では、能面など手に取っての解説、また参加者が能装束をつける実演もおこなわれ、貴重な体験となりました。

関西日本サイ科学会 6月 の定例幹事会にかわる「お茶 会」に関連して

和田高幸

(関西日本サイ科学会会長)

6月の研究集会は中止(延期)となりましたが、「お茶会」あるいは「お茶」についてすこし述べたいと存じます。

まずわたしの場合、「お茶」を嗜む習慣がついたのは1970年頃の学生時代、英国の家庭に滞在していた時期がきっかけだったと記憶しますが、当時の英国人た

ちは朝から晩まで一日に何度も紅茶を飲んでいました。英国には紅茶の歴史がありますが、昔は値段が高かったのでしょう。しかし酪農国ですからミルクは安く、カップにはミルクを先に注ぐのがふつうでした(私のような日本人には奇異な感じがしましたが)。

その後、豪州の大学へ留学、さすがミルクの品質はよかったです、専らお茶よりビールの毎日でした。

日本的な「茶室」を構えるのは長年の夢でしたが、自宅の座敷を使えば実現するのではないかと思いついたのは最近のことです。幸い、庭には蹲踞(つくばい)があり、縁側を「待合」とする発想が生まりました。茶釜や炭はどこでも手に入りますが、「お茶」といえば「作法」や「形式」を思い浮かべることが多いようです。

一応の素養はあるとはいえ、お茶の来歴などをみますと、茶室も茶会もけっこう自由な発想でよいのかと思われます。「茶の湯」といえば茶碗や生け花、掛け軸などの道具立てが浮かんできますが、貿易港の堺から発祥したのですから当然です。舶来ものの陶芸品や

絵画などで財を成したのは堺の商人たちです。千利休やその師匠・武野紹鷗も豪商といわれ、当時の「茶会」の同人であったはずですが、茶会は、現代風にいえば「ロータリークラブ」のようなものかもしれません。週一回の定例会には選ばれたメンバーが集い、会合の中身は食事とスピーチです。

ところで茶道を大成した利休の師匠、武野紹鷗(たけの・じょうおう)の茶室が「天下茶屋(てんがちやや)」に近い松虫通(阿倍野区)の「聖天」にあったというところを、住職から聞きました。8畳くらいの広さだったそうですが、茶室としては広めです。わたしの推測ですが、堺から来た紹鷗は、もともと異国からやってきた宣教師で背丈も日本人より大きかったのでしょうか、紹鷗がつくった茶室ですから「紹鷗庵」。これがなまって「ジョウアン」となったのでしょう。堺の「利晶の杜」には宣教師、「ジョアンナ・ロドリゲス」の展示があります。たぶん「ジョアンナ」は日本名「じょうあん」を名乗ったのでしょう。天下茶屋の隣には「基督教短大(きりたん)」

の敷地があり、昔ここには宣教師が住んでいて日本庭園もあったと地元の古老から聞きましたが、同一の人物かどうかはわかりません。いずれにしても、堺や大坂は海に面しており、しかも西にひらけた港町でしたからヒトやモノが行きかうのはあたりまえのこと、つまり国際的だったということですが、「茶の湯」も同様、西洋や大陸から入ってきて定着した文化です。

大阪、船場生まれの父は、生前「あるもの、使えるものは最後まで使え」とよく言いましたが、「古いもの」や「あるもの」(数寄屋を生かすといった心がけが今回の「茶室」に結晶したのかもしれない)。

当日は、懐石料理ならぬ「茶巾鮎」と「茶碗蒸」の昼食と煎茶碗で接待する予定です。

人生を命が消えるまで心も健康でありたい生き方

森安 政仁

(前九州日本サイ科学会会長)

私は81歳で現在健康で痛みもなく、自営業(鶏卵卸業)で毎日の出会いの人と心の勉強をしています。41年間全国の縁ある方と出会い、無料で心霊治療をしてまいりました。

そして一番大切な事は人間関係の調和に気づきました。特に生霊(祖先、人の思いの念)、怒り、妬み等の思いを身体に受けると、身体どこかに痛み、しびれ、頭痛等として受ける80%位が生霊と私は思います。この状態が長い年月続くと念を発した人も受けた人も病気が病気として現れるようです。

生霊は発する人間の思いが消えるまできます(波のように続きます)。この生霊を止めることは、私は誰もできないと思います(祈りで一時的に軽くなりますが)。左側は女性からの思い、右側は男性からの思い、そして身内の争いが特に難病が多いようです。

先祖について

会社、商店、個人でも争い事長い年月していると、先祖が心配して、あの世で苦しんで、悪い方

にいつてしまいます。争い事は短期間にして早く気づく事が大切だと思います。争い事をしていては会社、商店、個人は、私が知る限りだめになりました。沢山のご先祖様に尋ねて、皆先祖の願いは「仲良くしてください」と伝えてと言われました。

80歳〜90歳の夫婦共健康でいる方の生き方

- ・両家とも先祖の供養を大切にしている
- ・争いはするがすぐ仲直りする
- ・奥さんがだんなさんに尽くしている
- ・だんなさんが奥さんに尽くしている
- ・子供には争いをしないように言い聞かせている
- ・社会に奉仕するように伝えている
- ・皆両家共兄弟が仲が良い

80歳代になって気づいた思い

身体が老化しているが、心が発する思い(念)が強くなってくる。また相手の念を受けると身体が老化しているので、若いときより強く感じる。人生死ぬまで修行と思

います。

介護にならないためには

- ・若いときから争い事をなるべくしない
- ・他人に迷惑をかけない
- ・世のため、人のために尽くす
- ・思いやりの心が大切

サイの広場第2号(1984年6月発行)アーカイブ

名著ごぼれ話

関英男

(元日本サイ科学会名誉会長)

「サイ」3号45ページの広告で『あるヨギの自叙伝』という書物にお気付きの会員もおられたと思う。ここで興味深いのは出版社である。森北出版といえ、理工学専門の出版社として手広く活動している、その方面で御存じない方はないはずである。しかし、理工学書しか扱わない出版社が、なぜヨガに関する本をだすように

なったかの経緯を知ってる方はほとんどないと思うのである。

筆者も、「日本神学」の表紙裏に中野裕道先生著「ヨーガ霊動法」と並んで『あるヨギの自叙伝』を紹介してあるので、神学連盟が出版しているのかな、と思った位である。しかし、同じ「日本神学」でも、昭和57年頃の推薦図書を見ると『ヨガ行者の一生』となっている。この日本語版の初版は昭和35年6月25日で定価2,000円、関書院新社(森北ビル内)発行となっている。昨年、9月10日初版として発行された『あるヨギの自叙伝』は森北出版社の名において、定価2,800円で販売されている。

その間の事情を筆者の知っている所から述べるところである。まず、京都にあった関書院の先代社長が、SRF(自己実現同志会)の趣旨に賛同して昭和35年に出版したが、経営の都合で在世中に森北出版社の会長森北常雄氏に出版の継続を依頼し、関書院の先代社長は他界された。そして、森北ビル(元は駿河台にあった)内に関書院新社を設けて出版を継続し、昭和53年には11版を重ねた。現在、京都に関書院はないそうであ

る。森北出版社は社屋を現在の千代田区富士見一丁目に移し、原本は同じだが、一昨年新しく版權を取得し、昨年9月10日に初版として世に出したのである。

一体なにゆえに理工学書しか扱わない森北出版がヨギの自叙伝を発行したのか。それは現会長の森北常雄氏が、関書院の先代社長と深い友人関係にあり、その依頼によって引受けられたからである。それを現社長の森北肇氏が継承しているということである。しかし、先代の関書院社長が故人となった現在、なぜこのような大冊を翻訳出版したのかを知ることは困難である。さらに湧いてくる疑問として、原本の出版権についてである。米ロスアンゼルスにあるSRFという会員組織の団体の出版部が版權を所有しているのであって、これは通常の場合のように出版が主体業務ではないのである。また、旧版と新版の日本語訳を筆者は丹念に比べてみたが、確かに、新版の方の日本語訳は洗練されて読み易くなっており、内容は正確無比である。これが20年以上のロングセラーになった理由でも

ある。

原著者バラマハンサ・ヨガナンダは1893年1月5日インド東北部のゴラクプールに生れ、1952年3月7日米国ロスアンゼルスにおいて3次元の肉体を離れた。その間、1917年に、いかなる宗派にも属さない公益法人YSSをインドに創設し、1920年に同様の法人SRFを米国ロスアンゼルスに設立した。変っているのは、旧版も新版も日本語訳の訳者名がなく、SRF日本会員となっているだけである。

筆者は失礼と思ったが、試みにこの点を編集担当者に質してみた。すると、英語に堪能な貿易会社員で、しかもSRF会員の御協力によるものであることが分かった。この書物の著者は本格的なヨガの行をスワミ・スリ・ユクテスワより教わった。スワミ・スリ・ユクテスワの師はラヒリ・マハサヤであり、そのまた師に当るマハアヴァター・ババジはインドのヒマラヤに現存する数千歳の神人だという。これら3人の肖像は著者のそれとともに、この書物の巻頭に飾られている。ただし、ババジの肖像だけは、画家の描いたもの

であつて、減多に娑婆に姿を現わさないためでもある。ババジ以外の3人はもう故人であるが、この書物の著者ヨガナンダの師のまた師のラヒリ・マハサヤの霊が「人類の原点を探る」の著者、安東民先生と関係があることは、誠に興味ある因縁である。ヨガナンダは『あるヨギの自叙伝』の他に9冊の書物を著している。そのうちの1冊を森北出版の元常務の太田さんから翻訳について筆者が相談されたことがある。そこで筆者は、日本サイ科学会の初期総務理事照洲さんに示した所、かなり乗気になられたが、版權交渉が進まずに流れてしまった。所が、筆者は図らずも、その中の術語に「オーム」という言葉を記録していたのである。いわゆる安東民先生のオーム振動水の語源である。

それによると、オームはすべての音響の基本であり、神を象徴する宇宙語である。ヴェーダ語のオームはチベット語の聖なる語「ウム」になった。また、回教徒のアーミン、それからエジプト、ギリシャ、ローマ、ユダヤおよびキリスト教徒のアーメンに転化した。ヘブライ語のアーメンは確実と忠

実を意味する。オームは聖なる靈魂（不可視の宇宙振動、あるいは宇宙創造の大神様の諸相の中に存在する神）から放散されるすべてに透入する音響である。また、聖書の言葉であり、すべての原子内にある神聖な存在を実証する創生の声である。オームはSRF（自己実現同志会）の瞑想法の実践によって耳にきくことができる。

話がそれてしまったので、ふたたび原著にもどることにしよう。訳本は500ページ以上に及ぶ厚い書物であるから、よほど根気のよい方でないと、全巻に目を通すのは困難である。しかし、サイ科学を本格的に掘下げようとするなら、この書物を読んでおかないと話にならない。著者ヨガナンダはクリア・ヨガを実践したが、同時に唯物科学万能の西欧の人々に、その本質を普及する使命を与えられたので、世間一般でいう最高学府に入って大学教育を受け、1920年米国に渡った。

かくいう筆者もこの書物から沢山のことを学んだ。無線電信をマルコニーより以前に発明しておりながら、その榮譽を求めず、むしろ、動物、鉱物、植物のすべてが躍動する生気を観察できるクレスコグラフを発明した大科学者ポーの話もその一つである。

何年も何年も飲まず食わずに生きたのは、日本の長南年恵だけかと思つたら、インドには50年間で断食して平気なギリバラという女性があつたことをこの書物から教えられた。しかも、著者ヨガナンダはわざわざギリバラの住むベンガルの山奥フルリアまで訪ねていった。そして、ギリバラは12歳4か月以来、68歳の当時まで、いっさい飲食物を口にしない秘法を質問した。しかし、その秘密を一切漏らすことを禁じられております、といつて拒絶された。ただ、ある種のマントラと一種の呼吸法から成るものであることだけが分かった。いわゆる仙人が霞を食つて生きる方法を地へいつたものである。故人から直接話を聞くことができないので、ここは筆者の想像だが、関書院の先代社長はSRFの会員となり、利害を超越して、この名著を邦訳するよう推進されたのではあるまいか。

故 関英男先生のサイ関係 (+ α) の主要な御著書 (在庫のあるもの)

	定価	送料
加速教育法 (1990: 加速学園出版部)	2,100 円	(300 円)
加速学習法 (1995: 加速学園出版部)	2,550 円	(200 円)
サイ科学の全貌 (1991: 工作舎)	1,995 円	(200 円)
グラビトニックス (2000: 加速学園出版部)	1,000 円	(160 円)
念波 (1990: 加速学園出版部)	800 円	(160 円)
CD: 生命と宇宙 [講演録 72 分] (1998: 船井メディア)	3,000 円	(160 円)
謎のオズマ計画 —UFO との関連— (1976 USL)	190 円	(160 円)
FIVE DIMENSIONAL WORLD (1974: 英語版)	1,000 円	(160 円)

※「深宇宙探訪記」は大幅に値下げ致しました。

以下オスカー・マゴッチ著、関英男先生監修

深宇宙探訪記 (上) (1991: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
深宇宙探訪記 (中) (1992: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
深宇宙探訪記 (下) (1992: 加速学園出版部)	1,000 円	(200 円)
VHS ビデオ: オスカー・マゴッチ氏の講演 (2h40m)	3,000 円	(200 円)
VHS ビデオ: ティモシー・ワイリー氏の講演 (2h45m)	3,000 円	(200 円)

※ビデオは日本語逐次通訳付きです。

お問合せ、御注文は先に下記の E-mail、または FAX 宛にお願い致します。

その際、書籍名と送り先の郵便番号、住所、氏名、電話番号もご記入願います。

ご返事で送料を含めた代金やお振り込み方法等のご連絡を致します。

※正式な御注文から 2 週間以内に発送致します。

※1 種類で沢山の部数を御注文の場合は、事前に在庫を下記の E-mail または FAX で確認して頂いてから、お願い致します。

※以上の書籍は今後増刷がありませんので、在庫が無くなりましたら、ご容赦願います。

< お問い合わせ >

日本サイ科学会事務局 〒 271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町 41-506

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

FAX 047-330-4091

分まかなえるレベルになります。再生可能エネルギーについては、ネガティブキャンペーンがありますが、私は楽観しております。

実はサイ科学の主要なテーマである空間エネルギーも実現すれば、どこでも無料でエネルギーが取り込めるのです。もう少し時間はかかると思いますが、実現の可能性は十分あります。

エネルギーが豊富に供給されれば、ヒューマノイド（人間型ロボット）がほぼ人間の仕事の肩代わりをするようになります。人口が減っている日本ですが、人口以上のヒューマノイドが活躍して農業も新技術が生まれ、食料自給も可能になり、様々

な産業が発展します。

それでは人間は何をするのか？何が生きがいになるのか？自分の好きな趣味、手作りのもの、音楽、絵画、デザイン、小説、アウトドアライフ、旅行、起業、発明、・・・いくらでもやりたいことはあるでしょう。今までのように食べるためにやむを得なくやっていた仕事ではなく、より創造的、より楽しいことに自分の時間を使うようになります。もちろん起業して世の中のためになるものを造り、お金儲けしてもいいでしょう。結婚して子育てや家族で楽しむのも大いなる創造行為です。

超常現象として願い事を叶える

栗田 慶祐

(1) 自分専用のガイド(守護霊)を演出(所有)する。夜になり、ベランダに出て、暗い世空に向けてキリを吹き、水滴をカメラでフラッシュ撮影する。毎晩続けると、そのうちにガイド(守護霊)が出てくる(約1ヵ月間)。

(2) 呼吸法などを用いて脳波の周波数を下げて変性意識状態(ASC)になり、目隠し(アイマスク等)をして、非肉眼で外部を見る事を試みる。見える人は超能力者である。普通人でも、見える様に成るには、毎晩、毎晩施行して、10ヵ月くらいで、見える様に成れば、上出来である。

(3) この時、無意識層から「気」が体外に放出されて、そこにある真オーブ(依り代)に付着して意識体を形成する。

(4) 意識体は脳と協力して、マクロPKとして、スカラー波を介して、念写が形成される。

(5) 脳(意識)と心(自律神経)の関係をみると、サイ現象生起時の両者は、協力して現象生起の為の努力をしている。

(6) この実験の実施状況を述べる。

(6-1) 結果としての念写像等。市街地の橋の上、高速道路のPAなど、多少埃っぽい場所が良い。

(6-2) ガイドは深みの在る色合い。また重々しい感じがある。自分の先祖をガイドにすると、より安心感がでる。

(6-3) オープの円内の表面模様をカオス解析したところ、駆動因子としてフラクタル数1.9~2.3が得られた(苗、これから、皮膚の約2箇所から「気」が出ていると推定した)。

(6-4) 透視時の写真を見ると、鏡像が多い(福来、佐々木、山下、清田)。つまり、上下は正像であるが、左右は鏡像である。これは視覚が向う側にある証拠である。

(6-5) 念写時の光は、むこう側からやってくる(山下、中国の子供たち)。

(6-6) 芽オーブは、向こう側からくる(佐藤、佐々木、川崎等)。

(6-7) 5秒おきに連続して写真を撮影した時も、得られるオーブ写真には、量子的な結果と物的な結果が重畳してあらわれている。

(6-8) 現象生起時の脳波が7~8Hzに近づくと、皮膚の上下振動(MV)もこれに同調する傾向がある。つまり脳機能と自律神経機能が協力して、現象を生起させているようすである。以上から、

(A) 「気」は大気中を流動している。

(B) 変性意識状態(ASC)に入る事が必要。

(C) 変性意識状態(ASC)によって、意識の自由度を制限して、物質化することにより、意識を実験に参入させることが可能に成ると考えられる。

は個人の貧富の差は格段に拡がり、さらに科学技術も発達して、経済力も含めて国家間の国力の差が生まれております。そして軍事力のある独裁国家は国内の特定地域に住む民族を弾圧したり、周囲の国に侵攻して、領土を増やそうとしています。それは当然すぐに紛争や戦争に移行するでしょう。

通常の「100人の村」とは違うお話ですが、もし100人の村で99人が幸せに暮らしていても、1人だけ不幸な人間がいて、皆からいじめられていたら、どうなるでしょう？

その1人は自分の境遇を嘆いて、他の99人を恨んで危害を加えるかもしれません。そうするとどんなに幸せに暮らしていた99人も酷い状況になる可能性があるのです。横溝正史の長編推理小説「八つ墓村」のモデルになった津山事件（1938年）はその最悪なケースです。近年では秋葉原通り魔事件（2008年）、京アニ放火事件（2019年）も自分の境遇に不満をもつ男が起こした事件です。米国では学校等での銃乱射事件が毎年多数起こっております。

これらはもちろん個人に責任がありますが、こういう事件を生み出す社会的な状況があって低い確率ではありますが、事件を起こす人間が現れ、そして平和で善良に暮らしていた多数の人々の生命が奪われるのです。

こういう不条理な事件が起こらない社会、覇権主義の国家、独裁者が出現しない世界、すなわち全ての国民が平和で安全で幸福に暮らす社会を構築するためにはどうすればいいのでしょうか？

まず人間の本質はスピリチュアルな存在であり、地球上の全ての人間はその霊性レベルにおいてつながっている、ということが科学的事実として人々に認知されること。人を愛すれば即自分を愛していることになり、また人からも愛されます。また人を傷つけば自分も心が傷つくのです。繊細な心をもっている人はこの反応がすぐ分かります。

従って、全ての人々の行動指針と国の政策は「愛と慈悲と共生」の原理に基づいたものにするということです。サイ科学、心霊科学を研究している皆さんはほぼ意味が分かると思いますが、一般の人々、世界中の人々がその事を常識として納得するためには、あと何百年かはかかるでしょう。

残念ながら人類はこれからも悲惨な戦争を繰り返すでしょうし、全面核戦争になれば人類絶滅の危機もあり得ますが、そこまで行かなければ個人と同様、苦い経験を沢山して人類も学んで行くでしょう。

要するに争いや戦争というのは、人間のもつエゴイズムや強欲、支配欲によって引き起こされ、それによって無益な殺し合いが始まり、多くの悲しみが生まれ、勝者も多大な損害を受けます。真の知性をもった者同士ならば、いかにそれが馬鹿らしいことか、未熟で幼い行為かが分かるはずですよ。

「愛と慈悲と共生」といっても言葉だけでは、理想社会は実現しません。社会システムとして、才能がある人もそれほどない人も、また精神的、身体的な理由で働けない人も、通常の生活ができるだけのベーシックインカムを国から支給する。それだけでも自暴自棄になって起こす犯罪は減ります。

多数の人間が集まれば率は低いですが、働くことが難しい人、芸術家や科学者でも生活を維持するのが難しいタイプは昔から存在しています。そういう人々も最低限の生活は保障して、その余裕の上で何か世の中のためになることができればベターです。

ベーシックインカムといっても、その原資はあるのか？

そのためには、エネルギー政策が重要になります。カーボンニュートラルにかこつけて、また原子力村から原発再稼働しなければ日本は危ない、などの不安を煽る宣伝がありますが、嫌なことを忘れようとするのが日本人の悪い癖です。どこでも引き受けられない放射能物質のゴミが、全国52基の原発周辺に大量に保管されており、これからもそれを増やそうというのでしょうか？

高速増殖炉「もんじゅ」は1兆円以上の税金を使って、商業発電量0で廃炉となり、その何十倍の税金を使って建設した原発52基のうち現在稼働中なのは9基のみということですよ。何という無駄をしたのでしょうか？

これからはより安全で建設費も安い、コストも将来は安くなる地熱、水力、風力、波力、太陽光等の再生可能エネルギーの時代です。特に日本は世界有数の「火山国」であり地熱資源は、世界第3位のレベルです。これら再生可能エネルギーの開発を原発よりも低いレベルでも国の支援と意欲があれば、将来のエネルギー源は原発、火力無しでも十

喩えれば、俺は今こういう銃や刀やナイフをもっているぞ、と周囲の人間に誇示する行為であり、現代の先進国では反社の人間でもあまりやらない行為でしょう。人間として恥ずかしい行為なのですが、それが国単位だとそれほど非常識だと思われずに続いております。

また、個人同士で考えても人の物を無断で取ったり、人の土地を奪ったり人の家に無断で上がり込みそこに住みついて、その家の住人の自由を侵したりすることは、民主主義国家でなくてもあり得ないですし、もしあったら犯罪になる行為ですが、特定の独裁国家は他国に対して平気でそれをやっております。

残念ながら21世紀の地球においても、こういう判断をする人間が為政者として長期政権を築いているのです。ということは、そういう独裁者が現れる社会を造っている国民、そしてひいては人類全体の責任といえるでしょう。

日本も昭和初期から第2次世界大戦(太平洋戦争)が終わるまでは、天皇陛下を祭り上げて政治家と軍部が民衆を煽りながら、半島、中国、台湾、東南アジアに侵攻し、インフラを整えたケースもありますが、やはりそこに住む住人達の自由を奪い、命を奪ってきた歴史があります。

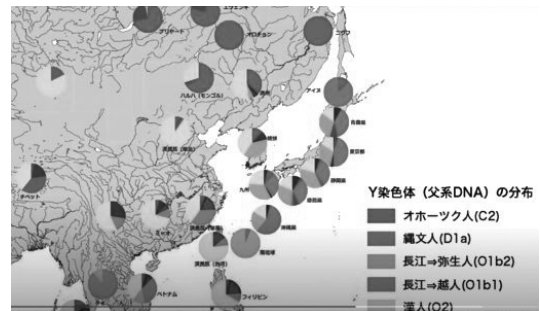
こういう歴史を見てくると、本当に戦争のない「理想社会」は来るのだろうか?という疑問は残るでしょう。

その前になぜ人類はこういう愚かな行為を続けているのか、その原因を探ることが必要です。

遺伝子解析も含めて最近の研究で日本の紀元前の歴史がかなり分かってきたのです。渡来系の弥生人が進んだ稲作技術を伝える前まで、縄文人達は栗などの木の実の栽培や海に出て海産物や漁労を共同で行い、縄文後期には稲作も始まっていたようですが、縄文時代は1万年~1万3千年続いたということです。

その期間において大量殺戮の跡はほとんど見つかっておらず、また渡来人と縄文人の戦いの跡もあまり無く、両者はゆっくりですが混血していったようです。その証拠は日本人Y染色体(父系DNA)の遺伝子解析をすると、中国や東南アジアにはほとんどない縄文人(D1a)の遺伝子が半分前後あり(唯一例外はチベット人も多い)、残り半分は大陸

から来た民族の遺伝子が入っております。(詳しくは以下のYouTube動画を検索、視聴願います。)



YouTube 教科書には無いDNA解析で分かった古代日本人の起源-後半- 茂木誠

縄文人のもつ争いを嫌う穏やかな性格もあったのかもしれませんが、古代の日本人は1万年以上という長期間大きな争いもなく、平和に暮らしていたのはなぜでしょうか?縄文時代と重なる時代のあるエジプトでは周辺諸国との激しい争いや王朝の栄枯盛衰もありました。日本は島国という他国から侵略されにくい地政学的な優位さはありませんでしたが、国内での政治的な争いはなかったのでしょうか?

まだ詳細な歴史は分かっておりませんが、かなり平和が続いたことは確かなようです。その理由を推測するに、毎年限られた土地での粟や木の実の生産は共同体として協力してやっていかないとまくいかないのですし、それらの収穫を特定の個人が蓄積することもできなかったでしょう。また海産物や魚は生ものですから、主に男達が共同で小型船で海に出て捕り、それぞれの家族集団に持ち帰って、早めに食していたでしょう。

要するに当時は特定の個人が富を蓄積して、人々を搾取したり抑圧したりはできない社会であったと思います。天変地異や天候不順、海の状態の変化により、収穫が激減したときも、皆で協力して生き残る術を考えたとと思います。

日本が国家の形を取り始めたのは、卑弥呼が治めた邪馬台国ですが、それ以前に大陸からより優れた稲作技術がもたらされ、弥生時代が始まります。穀物の蓄積そして富の蓄積ができるようになり、富の偏在が起これると、支配層や被支配層の区別が生まれます。

話は飛びますがそれから1800年ほど経った現代



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp
公式サイト <http://psi-science.org> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

理想社会への道

瀬尾 泰範

2020年の1月に日本で最初の新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の患者が出てから約2年半経った時点で、弱毒化したとはいえオミクロン株+ α がまだしたたかに市中感染しております。

今から100年前、パンデミックのスペイン風邪が猛威を振るい、概数ですが世界で4000万人以上、日本で38万人以上の死者を出しております。

今年6月下旬時点でのコロナ死者数は、世界で630万人以上、日本で3万1千人以上です。100年前は現在と比較すれば、ワクチン、医療技術、医療体制、衛生観念が大幅に劣っていた時代なので、単純比較はできませんが、新型コロナウイルス以上のダメージを人類は受けました。

当時の日本人口5,500万人の約40%がスペイン風邪に感染し、日本では終息までに3年かかっております。それに従えば新型コロナウイルス感染症も今年中に終息するのではないかと希望も込めて予想します。完全には終息しないで、より弱毒化してインフルエンザ並になるという予想もあります。

人類にとってパンデミックは天然痘、ペスト、梅毒、コレラ、結核、発疹チフス、ポリオ、麻疹、風疹、インフルエンザ、エイズ、・・・等、一世紀に2、3回は起こっていることで、これからも人類のパンデミックとの戦いは続くでしょう。

地球創造主の立場からいえば、パンデミックは現在の地球の支配者として自然も変えるべく、我が物顔に振る舞っている人類の奢りに対する警告でもありますし、社会常識や文明の転換を促す効果もあるでしょう。

そしてコロナ禍が多少収まってきたかと少し安心していましたが、今度は2月24日にプーチンロシアのウクライナ侵攻が始まりました。どうい

理由があれ、独立した国家に他国が侵入し、街を破壊し尽くして、多数の住民を殺していい訳がありません。本当にウクライナの現状をニュース映像等で見ると、心が痛く気分が落ちるので、最近あまりテレビを見なくなりネットで情報を仕入れております。

予備校講師としてたまに生徒と戦争の話をするのですが、やはり人類はこれまでもずっと戦争をしてきたし、これからも永遠にしていくだろう、というのが生徒達の見解です。多分皆さんもほとんどの人が同じ意見だと思います。

しかし私は、それほど絶望的ではありません。智慧をもった人類として、ホモ族の中で最終的に生き残ったホモ・サピエンスは20~30万年の歴史といわれておりますが、文字が発明され文明が起ってからせいぜい1万年から数千年の歴史しかないのです。私はよくいうのですが、100歳の人を時系列で並べれば、数十人の時間経過なのです。真の意味での「高等人類」への進化の過程としては、現在はやっとなら幼児から小学校低学年レベルになったということでしょう。

幼児や小学校低学年レベルの子供達の喧嘩を見れば分かりますが、目の前にあるおもちゃや食べ物を取り合い、ちょっと叩いた、場所を取ったということで感情的に泣いたり、喧嘩になります。1000年後の人類から見れば、現在の人類のやっていることは知的レベルでいえばまだ小学校低学年レベルなのです。

別の比喩でいいますと、独裁国家がよくいろいろな記念日にミサイルや戦車や多くの武器を行進させて示威することがありますが、それは個人に